

ありがとうの一言

OKIクロステック株式会社
支社統括本部
四国支社サポートサービス部
徳島支店 CE係

渡 部 虹 太

私がこの会社に入社し、CEとして働き始めてから今年で3年目になります。

まだわからないことも多く、なかなか思うように作業を進められないような日もあり、まだまだ学ぶことだらけの毎日です。

そんな私ですが、今でも心の支えになっている出来事があります。

それは1年目、新入社員研修が終了し配属されてしばらくしてからの時でした。

その日の作業は先輩との同行で、行先は住宅街に佇む一軒家、受付内容はカラープリンターでうまく印刷ができず用紙が詰まってしまったというものでした。

工具類や部材を社用車に積み込み、先輩の運転で事務所を出発。そのプリンタ自体は私も何度かOJT等のタイミングで触った経験があり、支障にならない程度に作業をやらせてもらおうと思いながら現地へ到着、玄関にてお客様が出迎えてくださりましたが表情から不安や焦りを感じられました。

一刻も早くお客様を安心させたいという思いと緊張の中で作業を開始しましたが、作業に入っただけで故障の原因は給紙ローラーの摩耗によるものだとわかり、先輩にも確認していただいてから交換に取り掛かりました。

私が一連の作業をしている最中に先輩がお客様への作業説明や問診をしてくださっていたことでスムーズに作業が進められました。

無事に交換作業が終わり、動作確認のために3回にかけてテスト動作実行。3回とも正常に用紙が搬送、印字されて出てきたのを見て緊張がゆっくりとほぐれていく感覚を覚えながら先輩に報告し、「いい感じ、いけそうだね」と確認をいただいてから完了報告のためお客様のもとへ伺いました。

その際にお客様がほっとした表情で口にされた「本当にありがとうございます」の一言は、当時の私にとってとても大きく重たい、そして温かいものを感じられました。現場から引き上げ、帰社する際に車内で先輩から労いの言葉もいただいたことも嬉しい思い出です。

昨今ではデジタル化が進み、様々なものが電子化されていく傾向にあります。それに伴いあらゆるものが姿かたちを変え、変革していく世の中です。作業報告書や手順書、通知文書などの重要な書類もパソコン1台あれば完結してしまう、そんな時代でも変わらず大切にされているものがあります。

それは感謝の気持ち、そしてそれを表す言葉です。

作業終了時にサインをいただく際、ありがとうございましたの一言をいただくだけでも達成感が何倍にも大きくなります。仕事で失敗してしまい落ち込んでしまったときも、お客様からいただいた「ありがとう」の一言を

思い出だけでグッと立ち直る活力になります。

ありがとうの言葉は文字数にするとたったの5文字ですが、その5文字には無限大のエネルギーが含まれているのだと思います。

そういった「ありがとう」に秘められたエ

ネルギーを無駄にすることのないように努めるのみならず、私自身も周りに感謝のエネルギーを与えられるよう、日頃からたくさんのありがとうを口にできるよう過ごしていきます。